

1月定例記者会見要旨

それでは、本日の情報提供でございます。

初めに龍ヶ崎教育の日推進事業「親子でつくる給食献立」の情報です。

本市では明日の龍ヶ崎を担う心豊かでたくましい子どもたちを育成するため、11月5日（いいこの日）を「龍ヶ崎教育の日」、11月を「龍ヶ崎教育月間」と定め、学校・家庭・地域社会の連携によって、さまざまな取り組みを行っております。

この取り組みの一つとして、学校給食センターでは、毎年、「親子でつくる給食献立」を市内小中学校の児童・生徒とその保護者から募集しています。

今年度は、健康な食生活に役立つ和の食材の最初の文字を、覚えやすく言いあらわした「まごわやさしい」というテーマで、まめ・ごま・わかめ・やさい・さかな・しいたけ・いもの中から3種類以上使用した献立を募集しました。これに対し、これまでで最多となる小学校263点、中学校670点、合計933点の応募があり、厳正な審査の結果、長山小学校6年生の長原（ながはら）和香（わか）さん、寛子（ひろこ）さん親子の作品「カラフルすいとんとん」を最優秀賞に選出したほか、10点の入賞作品が決定しました。

最優秀賞の「カラフルすいとんとん」は、2月13日に小学校の学校給食で提供する予定となっており、2月21日には、中学校の学校給食でも提供する予定となっております。また、このほかの入賞作品につきましても、2月以降の学校給食メニューとして順次、提供していく予定です。

なお、小学校での「カラフルすいとんとん」の給食提供の際には、私と平塚教育長が長原さんのクラスを訪問し、子供たちと一緒に給食をいただく予定です。

続きましてタッポくん健幸マイレージウォーキングイベントの情報です。

本市では、“スポーツ健幸日本一”の目標を掲げ、市民の健幸づくりのための様々な取り組みを行っておりますが、その一つとして、平成21年度から主に65歳以上を対象とした「健康ウォーキング講座」を開催しており、今年度でちょうど10周年を迎えます。

市ではこれを記念して、ウォーキングや健診受診でポイントがたまる「タッポくん健幸マイレージ」のPRも兼ねた「タッポくん健幸マイレージウォーキングイベント」を2月17日に開催します。

イベント当日は、たつのこフィールドからたつのこスタジアム、龍ヶ岡公園を周遊する3kmと5kmの2種類のウォーキングコースを設定し、スタンプラリーを実施するほか、メイン会場となるたつのこフィールドでは、ウォーキング教室、介護予防体操教室、健康測定や健康相談ブースを設けるなど、様々な健康関連のコーナーを設置いたします。

このイベントをきっかけに、市民の皆さんの健康に対する意識が高まり、ウォーキングによる健幸づくりがいつその普及していけばと考えておりますので、市民の皆様お誘いあわせの上、ぜひ、ご参加ください。

続きまして、龍ヶ崎市読書会連合会などが主催いたします「茂木健一郎講演会」の情報です。

ご案内の通り、茂木健一郎氏は、一時、テレビなどで話題になった「アハ体験」の紹介や脳科学者として有名な方で、脳と神経に関する解説書を多く執筆されるとともに、テレビや雑誌、インターネットなど幅広いジャンルで活躍されています。

今回の講演会では、「頭は本の読み方で磨かれる」をテーマに、脳科学者独自の切り口で、読書の利点や読書法などについて語っていただきます。

期日は2月16日・土曜日で、会場は文化会館小ホールです。当日は参加者と茂木さんのトークの時間もあるそうですので、ぜひ、多くの皆様にご来

場いただきたいと思えます。

本日最後の情報提供は、定住促進プロジェクト成果報告会についてです。

今後、全国的な人口減少が予測される中、本市におきましても、人が集まる魅力ある都市づくりを推進し、人口を呼び込み、人口を減らさない、さらには、まちへの愛着を醸成するための施策の展開が急務となっています。

そして、こうした「定住促進施策」については、これからの市を担う若者世代が、自ら考え実行するという意識を高めるとともに、若者世代の意見・提案を施策に反映させていくことが重要であると考えております。

こうしたことから当市では、定住促進に関する必要な調査検討を行い、若者の視点から導き出された施策案を提言するため、昨年5月に20代から30代の若手職員による組織横断的プロジェクト・チーム「龍ヶ崎市定住促進プロジェクト」を設置いたしました。

同プロジェクトでは、ビッグデータや統計情報等の収集、街頭アンケートやインターネット調査、行政内部のヒアリングなどにより、現状分析や問題・課題の洗い出しなどを行ってまいりました。そして、このたび、今年度の提案する施策案がまとまり、職員対象の成果報告会を行うこととなりました。

期日は2月4日、会場は市役所附属棟。私自身、完成した形の施策案を見るのは初めてとなりますが、若者らしい新たな視点での提案、そしてふるさとへの熱い思いが込められた報告になるものと期待しております。記者のみならずみなさまにもぜひお越しいただき、取材いただければと考えております。

以上で私からの情報提供を終わらせていただきます。情報の詳細につきましては、この後、担当から説明させていただきます。